

輝くわたしを見つける就活本

Kobeli:ve

リサイクル適性A
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

お問い合わせ

神戸市企画調整局政策企画部ビジョン・大学連携推進課

Tel:078-322-5030 Fax:078-322-6009

E-mail: daigakurenkei@office.city.kobe.lg.jp

平成29年3月発行

神戸市広報印刷物登録 平成28年度 第674号(広報印刷物規格 A-1類)



神戸市が、2020年に向けて、実現すべき目標と
その具体的な取り組みを示した「神戸2020ビジョン」。
そこに掲げたテーマは、
「若者に選ばれるまち+誰もが活躍するまち」です。

神戸は今、未来に向けた「新たなステージ」に踏み出しています。
開港から150年という節目を迎え、三宮を中心とした都心地域の
再整備も本格的に動き出しました。

しかし、まちの未来の中心にあるのは、あくまで「人」です。
新たな時代を担う若い世代の皆さん。
神戸には、若者が活躍できるたくさん舞台があります。
自分自身のこれからの考える中で、多様な魅力が詰まった
「神戸」のまちで働き、このまちとともに成長するという選択肢が
あるということについて、一度考えてみませんか。

この冊子は、神戸で学ぶ大学生が、神戸のまちを舞台として
働く魅力を発信しようと制作したものです。
大学生がインタビューした神戸で輝く女性4人からのメッセージは、
就職について悩んでいる若い皆さんにとって
大いに参考となることでしょう。
また、神戸のまちについての情報も掲載していますので、
就職に関する冊子というだけでなく、
お楽しみいただける内容になっています。

今、手に取られているこの冊子が、神戸に住み、神戸で働き、
まちと共に成長していくということについて考えていただく
きっかけになれば幸いです。

神戸市長 久元喜造

Kobeli:ve

神戸で輝く女性へのインタビュー



西村 香名子さん
(にしむら かなこ)
2010年入社
モロゾフ株式会社
経営統括本部 人事総務部

雰囲気の良い神戸



神戸のまちの空気感は独特で、地域によってさまざまな顔があるところが面白いですね。神戸の人々も大阪や京都の人とはまた違った雰囲気を帯びている気がします。
休日は、仕事のことをあまり考えることはせず、好きなことをして過ごすようにしています。友人とカフェや映画に行ったり。個人的には、三宮にあるGREEN HOUSE Silviaや南京町の老祥記が大好きです。また、大学でも続いていたバスケットボールで身体を動かすことも、私のストレス発散方法の一つです。

大切なのは自分自身

しっかりと自分の意志・目標があり、それに向かって邁進している人はとても魅力的だと思います。その人の立場は関係なく、どこにいても自分次第で輝くことができるのではないのでしょうか。



失敗ありきの仕事

入社二年目は仕事を覚えることに必死で、余裕が出てきたなと思えたのは四年目くらいだった気がします。社会人になってから、多くの失敗を重ねましたが、その経験はとても重要だと実感しています。なぜなら、その業務の重要性を再確認できるから。自分の失敗に落ち込むこともありすが、そこでふさぎ込むのではなく、「同じ失敗を繰り返さない」と前向きに考えることが大切だと感じています。
入社当時の配属は販売職で、繁忙期は体力勝負などもあり、大変でしたが、陳列の工夫等によって売上げを伸ばすことができたりと、楽しく貴重な経験ができました。現在所属している人事総務部では、学生さんに接する機会が多く、彼女らが入社後成長していく姿を見るのはとても嬉しいです。自分もかつて感じたように、「この人と一緒に仕事したい」と思ってもらえるようになることが今の私の目標です。



企業そのものを知ってほしい

就職活動で大切なことは、いろいろあると思いますが、その中でも私自身は第一印象に気を配るようになっています。声の大きさや表情の明るさなどによって、印象は大きく変わりますし、印象を良くすることによって相手にしっかりと聞いてもらえるようになりますよ。
また、就職活動では「何を経験したか」といった結果よりも、そこに至るまでの過程を伝えることが重要です。素直に自分の考えを相手に伝えるよう心がけて見てください。
就職活動で迷っている人は、ぜひ直接企業に足を運んでみてください。その企業で働く人に話を聞きながら、企業の内面も知った上で、ぜひ自分に合った企業を探してください。



モロゾフ株式会社
洋菓子製造・販売事業/喫茶・レストラン事業
『ころっなく。笑顔かがやく。』が企業スローガン。
(本社)
神戸市東灘区向洋町西5-3
Tel 078-822-5000
<http://www.morozoff.co.jp>

世界を相手とした仕事を神戸から…

現在、シューズを世界へと展開する部門に携わっています。具体的には、企画・開発デザイン部門、および主要7地域の担当者とともに、どのようなシューズを市場に展開していくかを検討する部門です。シューズの開発は、メーカーがどのような商品を作るべきかを市場の動向、消費者のニーズ、競合他社の動きなど、世の中の動きを把握したうえで検討する必要があります。そのなかで私たちの部門は、さまざまな人々の意見を各部へとつないていくといった橋渡しが主な仕事であるため、大変なこともたくさんありますが、その分やりがいも感じています。海外に住んだ経験もあり、英語でのやりとりには抵抗がありませんが、時差の関係で、早朝に会議をするのは大変ですね。ただ、職場ではフレックスタイムが導入されているなど比較的自由な働き方ができるので、子育てとの両立もできています。

神戸の魅力とは…

神戸は、商品展開を考える際に必要な情報を収集しやすく、トレンドのリサーチをするには適していると思います。大阪などへの交通網も整っているほか、神戸空港が近いので東京など遠方へのアクセスも意外に便利です。

私にとっては神戸は働く場所であって、普段は立ち寄ることも少ないですが、週末には家族で須磨海浜水族園に出かけるなど、子どもたちが楽しめる場所も多いのも魅力の一つではないでしょうか。

岡本 由花 さん
(おかもと ゆか)

2010年入社
株式会社 アシックス
グローバルパフォーマンスランニングフットウェア統括部
マーチャンダイジング部
グローバルS/MUマーチャンダイジングチーム



輝く女性は『ポジティブ』

女性は「欲張り」だと思います。仕事と子育ての両立は、時間に追われることも多く大変なこともありですが、これを前向きに考えると、仕事と子育てという二つの「楽しい時間」を過ごすことができるということですね。仕事のストレスは子どもたちを見ることで癒やされたり、子育てに疲れたら、仕事の時間でリフレッシュしたり。「子育ても仕事も両方頑張ることどちらにも楽しくなる」と考えると、ある意味欲張りなのかもしれませんね。輝いている女性とはどんなこともポジティブに変換できる人。何事にも前向きに取り組んでいる人は、とても魅力的だと思います。

仕事は楽しんだもの勝ち

仕事は、大変なことやしんどいことも多い。だからこそ「仕事は楽しんだもの勝ち」だと思います。仕事をするなかで二つとも楽しいことを見つけたことができればいいんじゃないかな。子育てをしながらの仕事で大変なのは自分一人の時間がなかなか作れないこと。ただ、少し早起きして録画した番組を見たり、通勤時の時間を活用したりするなどして二人で過ごす時間も大切にするようにしています。

「ご縁」を大切に…

就職活動の時には、どこに就職しようかいろいろ迷うと思います。でも、ある企業から内定が来ただけたということは、その企業とのご縁があったからこそ。なので、ぜひ怖がらず働いてみてほしい。働いたからこそわかることも多いです。これから就職活動される人は、直接人と会い、話すことの大切さを知って欲しいと思います。最近ではメールやSNSなど便利なコミュニケーションツールはありますが、しっかりと自分の思いを伝えるには直接相手と話すことが重要です。ぜひ人と直接コミュニケーションを取ることを大切にしてくださいね。



株式会社 アシックス
各種スポーツ用品等の製造および販売。
(本社)
神戸市中央区港島中町7丁目1番1
Tel 078-303-2231
<http://corp.asics.com/jp/>



こじんまりとした神戸の良さ

神戸のまちの魅力は、こじんまりしたところでしょうか。北に山があつて、南に海がある。そしてその間にまちが広がつていて、これさえわかつていれば道に迷う心配はほほえないですよ。狭い空間にいろいろな要素がキュッとまとまつている感じがいいかな。また、梅田に集積した商業施設などは違って、神戸の適度な人の多さに居心地の良さを感じます。

転職で居心地のよさを手に入れた

前職では社内のシステム関係の部門に所属していました。仕事そのものは好きでしたが、「女性である」という理由で深夜の仕事を任せられないことなどもあり、現企業への転職を決意しました。今の職場は、女性、男性問わず、一人ひとりのライフスタイルを大切にしてくれるという点でとても居心地良く感じています。



神戸で輝く女性へのインタビュー

尾崎 有希枝 さん
(おざき ゆきえ)

1999年入社
株式会社 神戸デジタル・ラボ
開発管理部長

パッケージソフトウェアを制作する企業を経て、現会社に入社。システムエンジニアとして多数のプロジェクトに参加する。現在は、現職にて顧客の依頼に基づいて作成した情報システムの品質チェックや、社内の情報システムの管理に関する責任者として活躍中。



輝く場所としての神戸

神戸は、東京や大阪などのような大都市ではないですが、それだからこそ輝けることはまだまだたくさんあると思っています。まちも人もこじんまりとつながっているからこそ、他人より尖つたことをすればかなり目立つんですよ。その意味で、神戸はここで働く人々にとっても他の大都市にはない魅力を多く持っていると思います。



モチベーションは若手社員

一緒に仕事をする後輩や若手社員がやりたいことや目標に向かって頑張っている姿を見るのは好きですね。彼ら彼女らがやりたいと思うことを実現させ、それが会社の利益につながるようにしてあげられたら、と思います。自分が子どもを持つようになってから、部下を自分の息子をみているような気分になることがあります。「彼ら彼女らが一人前になるまでは」と、部下の存在が自分のモチベーションを上げるにつながっています。

ランチで貴重な情報交換

テレワーク勤務の制度を利用して社員同士で、最近「テレワークランチ」を企画しました。これは子育て中の女性社員同士でランチを食べながら、仕事や育児を含め、さまざまな悩みについて自由に言い合う場。働く女性は、なかなか自分の住まいの近くで「ママ友」を作ることができないので、こういう同じ境遇を抱えた仲間同士でゆっくりと語り合う時間はとても貴重ですね。

楽しみながら仕事をする

部下には「身体は辛い時もあったとしても、楽しい、充実感がある、そういう仕事の仕方しよう」と伝えていきます。仕事は修行ではありませんから。私自身も常にそれを心がけていますね。

コミュニケーションを大切に

最近、効率性を重視するあまり、直接人と「話す」ことが軽視されているような気がします。これから就職活動を始める人も、メールやSNSといったツールではなく、人と人が直接意思を伝え合うことの大切さを知ってほしいと思います。人と人が直接コミュニケーションをとることで、きっと新たな価値観に出会えますよ。

株式会社 神戸デジタル・ラボ
情報システムの開発・運用・保守、
WEBサイトプロデュース、先端技術
開発、情報セキュリティサービスなど、
WEBビジネスを中心にお客様が
抱えるビジネス上の問題の解決を
図っているIT企業。コラボを大切に
企業とお客様をITで結びます。
(本社)
神戸市中央区京町72番地
新クレセントビル
Tel 078-327-2280(代表)
<http://www.kdl.co.jp/>

神戸は 人と人をつなぐまち



松下 麻理 さん
(まつした まり)

神戸フィルムオフィス 代表

奈良県出身。神戸ポートピアホテル、神戸メリケンパークオリエンタルホテル等を経て2010年神戸市広報専門官に就任。現在は、神戸フィルムオフィスの代表として神戸の魅力発信に奔走中。

神戸フィルムオフィス

映像プロジェクトの神戸への誘致活動とともに、ロケーションに対するワンストップサービスを提供する非営利の公的団体。『オオカミ少女と黒王子(2016年)』、『デスノート Light up the NEW world(2016年)』など、さまざまな映画やドラマの神戸ロケを支援しています。

神戸市中央区港島中町6-9-1
Tel 078-303-2021
<http://www.kobefilm.jp/>



あこがれの神戸

高校生の頃から漠然と神戸にあこがれがありました。未来都市的な神戸の雰囲気が好きだったんですね。その後就職活動が始まって、他地域で就職先を探していたのですが、たまたま受けた神戸の企業から内定をいただいた。既に内定をいただいていた企業もあったのですが、なぜかその人事部の方に「あなたは神戸に行った方がいい」と言われ……。これが神戸で働くことになったきっかけです。

寛容な神戸人

神戸の人は何にでも寛容で、すべてを受け入れてくれる人が多いと思いますね。他地域から来た人でもよそ者扱いせず、「やってみたら」と背中を押してくれる。この気質は港町で昔からさまざまな外国文化を受け入れてきたことに由来するのかもしれない。

神戸の魅力は人そのもの

神戸は私にとって人生が詰まっている愛おしいまち。人はさまざまなお嗜好を持っていますが、それらの人を満足させるものが神戸というまちに詰まっていると思います。それは山や海、街並みといった神戸を彩るさまざまな風景だけではなく、人もです。神戸の魅力は人そのものなんです。

人とのつながりを大切に

私はこれまで何度も転職を繰り返してきましたが、自分の転職の時には、常に自分の身近な方々から温かい貴重なアドバイスをいただきました。また、これまで経験したどの職業も私にとってかけがえのない財産になっています。みなさんが想像している以上に神戸で輝いている人はたくさんいます。ぜひいろいろなところにアウトプット、人脈を広げてみてください。自分が輝けるきっかけが必ず見つかりますから。

神戸の『食』



ファーマーズマーケット

ローカルブランディング戦略の一つである「EAT LOCAL KOBE」。その一環として東遊園地では、ファーマーズマーケットが開催されています。農業も漁業も盛んな神戸ならではの、地産地消のライフスタイルが実現できます。



プリモぐりる

柔らかいチキンソテーはトマトソースと絶妙にマッチ。心温まるスープ付き。

神戸市中央区元町通り1-12-3
恒星ビル1階
Tel 078-333-4678
営業時間：11:00-21:00
月曜休



丸玉食堂

オススメは汁そば。トッピングのお肉からは噛むほどに旨みが染み出てきます。多文化な神戸で老舗の台湾料理を楽しみたいあなたに。

神戸市中央区元町高架通1-124
Tel 078-331-5385
営業時間：11:00-21:00
月曜休(祝日の場合、営業)
※月一回火曜休



広東料理処

お好み焼き 千代

一押しは水餃子。しっかりとしたお肉の歯ごたえがクセになる一品。お店の方の笑顔がステキでオススメです。

神戸市中央区中山手通3-2-1
トア山手ザ・神戸タワー1階
Tel 078-332-5925
営業時間：11:30-14:00
17:30-22:00 不定休

神戸を知り尽くす

神戸フィルムオフィス 松下麻理さん

オススメの『神戸』

神戸を国内外にアピールするため、毎日奔走されている松下さん。神戸の魅力を知り尽くした彼女でも、日々新しい発見があるそう。松下さんオススメの神戸のさまざまな魅力のいくつかをご紹介します。

神戸の『街並み』



(通称)愛徳坂(神戸市垂水区)

神戸市垂水区歌敷山にあるとても急な坂道。愛徳学園の東側に位置しているため、地元では「愛徳坂」として親しまれています。海まで一気に駆け下りることができそうな、気持ちの良い坂道です。



六甲アイランド マリンパーク(神戸市東灘区)

六甲アイランドの最南端にある公園。広々としていて、海が身近に感じられます。ここからの夕陽の美しさは、ちょっと切ない気持ちになるほどです。

神戸の『人』



BE KOBE

神戸市では、震災20年を機に、神戸で生まれた震災の教訓や知恵を集め、多くの人に発信する「震災20年 神戸からのメッセージ発信」プロジェクトを実施しました。このプロジェクトの中で「神戸の様々な魅力の中で、神戸の一番の魅力は人である」という発見がありました。「BE KOBE」のサイトでは、新しい神戸を作っている「人」に焦点を当てて、その活躍を紹介しています。

<http://1995kobe20th.jp/>

2,308万人

神戸市を訪れる観光客総数
(2015年/神戸市調べ)

931.3m

六甲山標高
(ポケット統計こうべより)

251社

神戸市にある外資企業数
(2016年現在/神戸市調べ)

24校

神戸市内にある大学・
短期大学数
(2016年5月1日現在/学校基本調査より)

1,534,388人

神戸市の総人口
(2017年2月1日現在/神戸市の推計人口より)

消防・救急

第1位

市の施策や事業に対し満足していること
(2012年 神戸市民1万人アンケートより)

8,503円

世帯あたり喫茶支出額
(全国第4位)
(2013~2015年世帯あたり平均値/家計調査報告より)

20,721人

神戸市における農業人口
(2015年8月1日現在/ポケット統計こうべより)

第2位

居留意欲度ランキング
(地域ブランド調査2016より)

8373.3万人

三ノ宮駅(JR)/神戸三宮駅
(阪急・阪神)の乗車人数
(2014年度 神戸市の推計人口より)

139カ国・地域

神戸市に住む外国人の出身地
(2017年1月現在/神戸市調べ)

8都市

姉妹都市・友好都市数
シアトル市/マルセイユ市
リオ・デ・ジャネイロ市
天津市/リガ市/ブリスベン市
バルセロナ市/仁川広域市

50社

上場企業本社数
(都市データバック2016年版より)

7,501円

世帯あたり外食(中華)への
支出金額(全国第2位)
(2013~2015年世帯あたり平均値/家計調査報告より)

最下位

世帯あたり電気代および
上下水道料支出金額
(2013~2015年世帯あたり平均値/家計調査報告より)

191組織

神戸市防災福祉
コミュニティ数
(2017年現在/神戸市調べ)

1995年1月17日

阪神・淡路大震災発生

第3位

関西住みたい街ランキング2016
(不動産・住宅サイト SUMMOより)

神戸の『魅力』再発見

みなさんはどれくらい神戸のことを知っていますか。意外に知られていない神戸の魅力や、知っておくと役立つ神戸のことをご紹介します。

サッカー発祥

1872年、日本初の国際試合が
東遊園地にて開催。
※諸説あり

日本初の牛肉専門店

1871年元町に現存する
「大井肉店」が開業。

映画(活動写真)発祥

1896年に神戸・花隈にあった
「神港倶楽部」で、国内で初めて
映画が一般公開される。

豚まん発祥

1915年創業の南京町にある
「老祥記」が発祥の地とされる。

たくさんの『日本初』

神戸港が1868年に開港してから、
北米や欧州などをはじめ、
世界各地からさまざまな文化や
産業、グルメが流れ込んで
きました。神戸はたくさんの
『日本初』を持っています。

日本マラソン発祥

1909年に神戸市兵庫区を起点
とした大会で初めて「マラソン」
という言葉が使われる。

KOBE COLLECTION

2002年に初公演された日本の
リアルクローズを対象とした
ファッションショーイベント。

日本初のコーヒー店

1878年、元町通りにある
日本茶専門店「放香堂」が初めて
コーヒーの提供を始める。

一人あたり都市公園面積

政令指定都市第1位
(2014年度末・国土交通省調べ)

日本三大夜景

「夜景サミット2015」において
神戸市の夜景が札幌市、長崎市
とともに「日本三大夜景」の
一つに選ばれる。

紅茶の年間支出金額

日本一
(2013~2015年世帯あたり平均値・家計調査報告より)

洋菓子店舗数 日本一

(1万人あたり・2014年2月日本政策投資銀行調べ)

日本最古の温泉・有馬温泉

愛媛県の道後温泉、和歌山県の
南紀白浜温泉と並ぶ
「日本三古湯」の一つ

KOBE The Best in Japan

たくさんの『日本一』

実は、たくさんの『日本一』を誇る神戸。
意外なものもナンバーワンかも。

食パンの年間支出金額・消費量

日本一
(2013~2015年世帯あたり平均値・家計調査報告より)

「大学と連携した子育てひろば」数

政令指定都市第1位
(KOBE子育て応援団ママフレより)

明石海峡大橋

世界一長い吊り橋
(公益財団法人 兵庫県調査・公園協会より)

日本三大酒処・灘

京都府の「伏見」、広島県の「西条」と
並ぶ日本屈指の日本酒の酒処

様々なイベントが盛りだくさん！



EVENT SCHEDULE

5月	第29回 KOBEメリケンフェスタ 日程: 5/3~5/6 場所: メリケンパーク 新たな大型イベント「078 (ゼロ・ナナ・ハチ)」 日程: 5/6,7 場所: 東遊園地、みなとのもり公園、KIITO
	神戸開港150年記念神戸まつり 日程: 5/20,21 場所: 神戸市内各所 (21日のメインフェスティバルは三宮周辺及びハーバーランド)
	神戸開港150年音楽祭 日程: 5/20,21 場所: メリケンパーク
7月	第14回 海フェスタ神戸 日程: 7/15~8/6 場所: 神戸港周辺 帆船フェスティバル 日程: 7/15~7/17 場所: 神戸港
	第16回 Kobe Love Port・みなとまつり 日程: 7/16,17 場所: メリケンパーク
8月	第3回 神戸港ラテンアメリカン・カーニバル 日程: 7/29,30 場所: 高浜岸壁
	第47回 みなとこうべ海上花火大会 日程: 8/5 場所: 神戸港一円 こうべ海の盆踊り 日程: 8/19 場所: メリケンパーク
9月	秋の「食」イベント 日程: 9/17,18 場所: メリケンパーク
	港都KOBE芸術祭 日程: 9/16~10/15 場所: 神戸港内、港湾関連施設など

PICK UP EVENT



078 (ゼロ・ナナ・ハチ)

音楽や映画、食など、さまざまな分野で神戸を盛り上げる新たなイベントを開催。日本最大級の無料ロックフェス「COMIN KOBE」もタイアップ。



海フェスタ神戸

この夏、日本最大の海の祭典が神戸港で開催！大型帆船もやってくる帆船フェスティバルのほか、海、船にまつわるイベントが目白押し。



みなとこうべ海上花火大会

美しい神戸の夜景をバックに打ち上げられる花火大会。今年は開港150年を記念した特別な演出も！



秋の「食」イベント

開港とともに広まった神戸の食にスポットを当て、神戸の生活文化を発信するイベントを実施。



港都KOBE芸術祭

芸術の秋には、神戸港・神戸空港島を舞台に、船からアート作品を鑑賞する「海上アート展」などを実施。

神戸開港150周年事業の窓口 みんなでみなとを盛り上げよう！
おめでとう！
KOBE みなとアンバサダー
みなとの魅力を発信する「KOBEみなとアンバサダー」になりませんか

開港150年を迎えた神戸の魅力をSNSで発信しませんか。神戸をtwitterまたはInstagramアプリなどで撮影して、ハッシュタグ「#KOBEみなとアンバサダー」「#こうべみなとアンバサダー」「#神戸開港150年」をつけ、シェアボタンを押すだけ。これで、あなたもKOBEみなとアンバサダー。誰でも気軽に参加できます。



2017年、開港150年の神戸は盛り上がります



(スターバックスの outlet)

スターバックスが、「KOBE HARBOR COFFEE CRUISE」をコンセプトとした店舗を4月21日に outlet。神戸港を見渡せる開放感あふれる店内で、贅沢なつづろぎの時間を。



(新たなフォトスポット)

新たなフォトスポットとして、神戸市民のシンボルを表現する「BE KOBE」のモニュメントを設置。夜はカラーライティングによる演出も。



(新たな名所 桜並木)

50本のサクラが植樹され、ウォータフロントに新しいサクラの名所が誕生。夜間照明にも注目。



(東側エントランス)

元町方面からの玄関口となる東側エントランス部を整備し、おもてなし空間に。カフェレストラン「FISH IN THE FOREST ~TOOTH TOOTH x そら植物園～」も新たにオープン。

港とともに 歩んできたまち神戸
1868年に開港した神戸港。神戸のまちは、港と共に発展してきました。2017年は、開港から150年。記念イベントがまちのいたるところで開催されています。毎年恒例のあのイベントも、今年は特別にバージョンアップ。開港150年という大きな節目を迎えて、このまちは盛り上がっています。また、みなと神戸を代表するスポットであるメリケンパークは、大規模にリニューアル。芝生広場や多目的広場が広げられ、桜並木も新たに整備。新たに関西最大級のスターバックスが outlet し、夜もロマンチックな景観に生まれ変わります。まずまず魅力的になった神戸のウォータフロント空間。海辺まで少し足を伸ばし、神戸港の新たな歩みのスタートを感じてみませんか。



神戸で働くことの魅力を伝えること
これが私たちに与えられた使命でした。

ただ、神戸で働く女性に取材を重ねるごとに
夢や目標に向かって前向きに挑戦し続けている人であれば
誰もが輝いていることに気づきました。
就職活動に追われると、どうしても就職先のことだけを考えがちです。
しかしながら、働くことはあくまでも生活の一部です。

また、古来から港町として栄えてきたという歴史から
神戸は異文化を温かく受け入れるといった気風にあふれています。
仕事もプライベートも含め、豊かな「生活」を送ることができる、
自分の「信じた」道を突き進むことのできる「神戸」。

そんな神戸の魅力を伝えたいという想いを込め、この冊子を
「Kobeli:ve(コ・ベリーブ)」と名付けました。

将来の自分に何らかの不安を感じている就活生のみなさん。
この冊子に紹介されている女性は
みなさんと同じように悩みながらも輝いている方々ばかりです。

この冊子によって、みなさんが自分の将来を想像し、
神戸で輝く女性の一人として充実した生活を実現されることを
願っています。

『大学生の力を活かした神戸の企業魅力発信プロジェクト』メンバー

甲南大学

池上 紗水	石井 希実	井上 真実
大館 真帆	小林 晶	福井 萌々
藤原 大成	松岡 千聡	八尾 郁歩

